

エキスパート①

●孔版（ステンシル）の技法や制作方法を理解する。

ステンシルとは、絵柄を切り抜いた型紙を素材に当て、絵の具をつけた筆やローラー・スポンジで絵の具をのせてプリントする方法です。

孔版の特徴は印刷物に対しインクを乗せるという手法を取る為、紙、布、その他多くの物に印刷できるという特徴を持っている。Tシャツに模様をつけたり、ポストカードにステンシル風の文字を入れたりなど、ステンシルの用途は様々です。また、車やカバンなどに文字を書くのにも使われます。

また孔版画は表現手段も他の版画と比較して自由に展開できる技法であり、グラデーション（ぼかし）等の技法は、その版画の特徴ともいえます

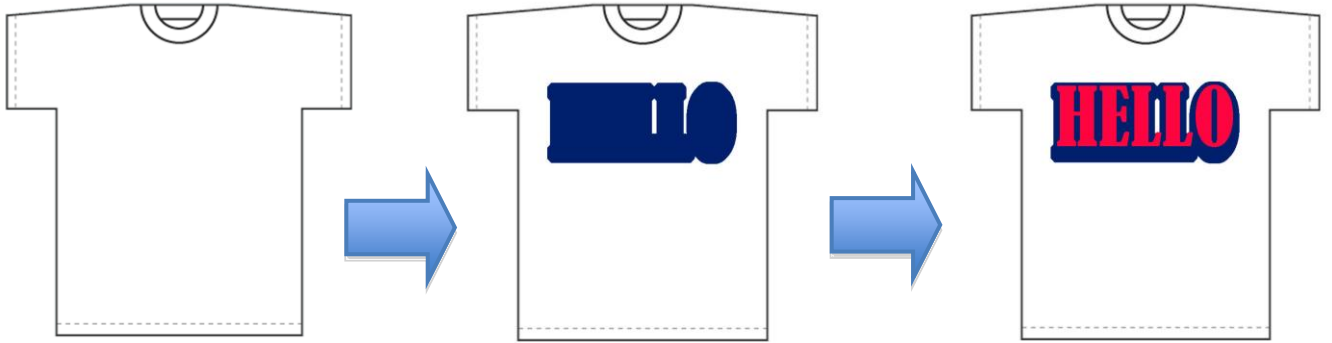


エキスパート②

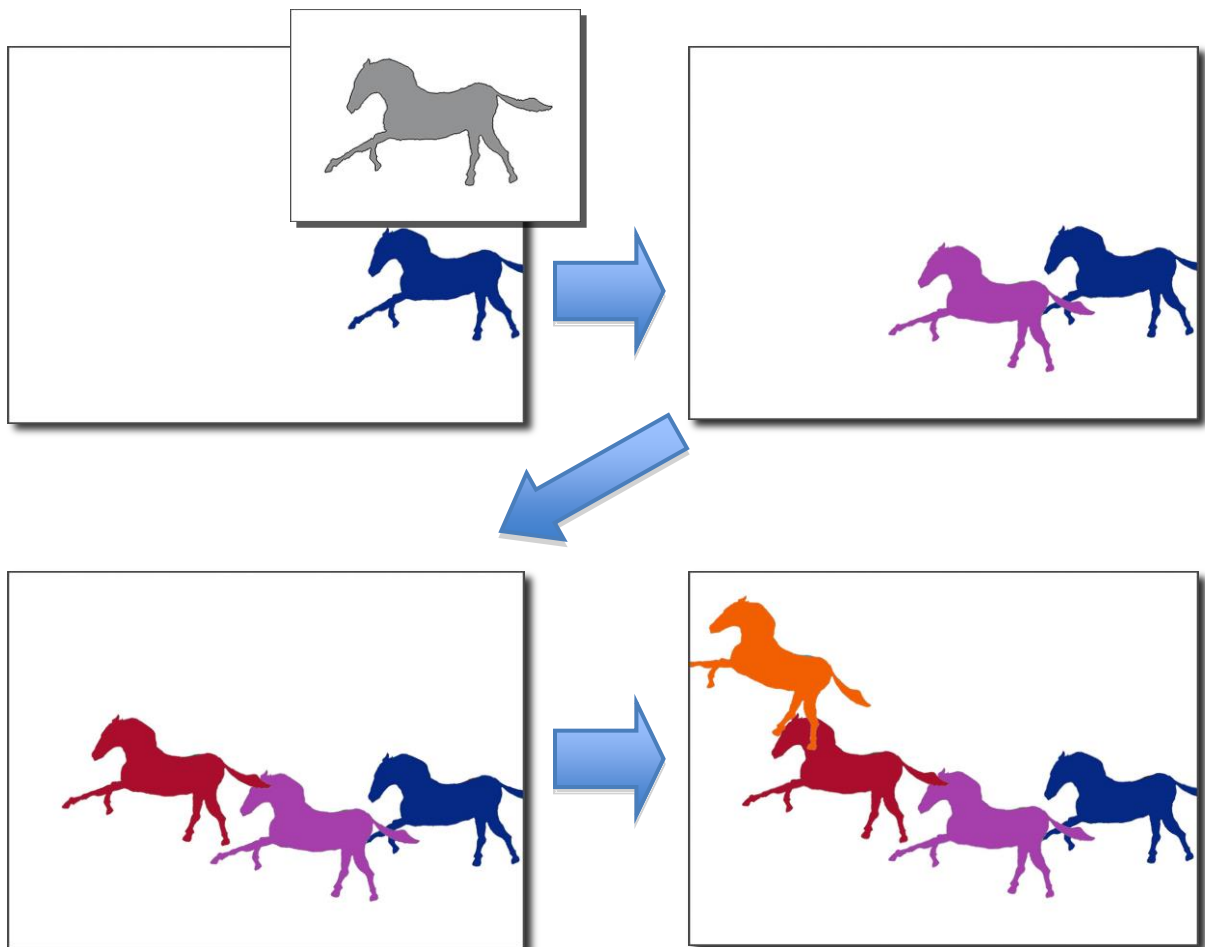
●孔版（シルクスクリーン）の特徴を理解する。

版画の特徴は、複数のオリジナル作品を制作できることで、1枚から数百枚まで自由な枚数を刷ることが出来ます。

○何版かに分けて多色刷りすると魅力的な作品ができあがります。またシルクスクリーンは様々な素材にすることが出来る。



○同じ版でも何回も使うことで位置や色を変えて何回も刷ることで、変化のある作品ができる。



エキスパート③ グラデーション（ぼかし）の技法

美術作品の中には、様々なグラデーションやぼかしが表現されている。それは作品の深みを増したり奥行きを感じさせる重要な要素でもある。ここでは何種類かのグラデーションの技法を紹介する。

●片ぼかし

片ぼかしは刷毛に水を含ませ、刷毛の三分の一程度に絵の具をつけて塗っていく技法です。

画像削除

(<http://shuchiin-blog.weblike.jp/saishiki/> より 片ぼかしの
手法の写真)

●エアブラシ（スプレー）でのグラデーション

エアブラシやスプレーの特徴の一つとして、グラデーション(ぼかし)があり、自然なグラデーションができます。

画像削除

(<http://kitasaki-bus.com/custompaint/> より エアブラシで
の手法の写真)

●ローラーや刷毛でのグラデーション

ローラーや刷毛を使ってのグラデーション両サイドに絵の具を足し、パレットなどで混ぜることでローラーや刷毛の中でグラデーションをつくり、彩色する。

画像削除

(ローラーでのグラデーションの手法の写真)

●コンピューター・グラフィックによるグラデーション

コンピューター・グラフィックを使ってグラデーションすると均一な、ぼかしができる。
また、面積も簡単に選択することができ、色も絵の具を使うよりも容易に増やすことができる。

画像削除
(コンピューター・グラフィックのスクリーンショット)

●木版画でのグラデーション

木版画でのグラデーション（ぼかし）は、平らな版木を水で湿し、絵具と少量の糊を置き、刷毛で板にもみ込むようにして板上にグラデーションを作っていく。

画像削除
(<https://www.adachi-hanga.com/staffblog/000499/> より 木版画でのグラデーションの作りかたの写真)

●筆によるグラデーション

画面の絵の具が乾かないうちに筆を使ってぼかし、グラデーションをつくっていく。

画像削除
(筆によるグラデーションの例と、グラデーションに使う筆の写真)